



20～30歳代女性のがんでの発症率一番！ 子宮頸がんを予防しよう！ ～9月は健康増進普及月間です～

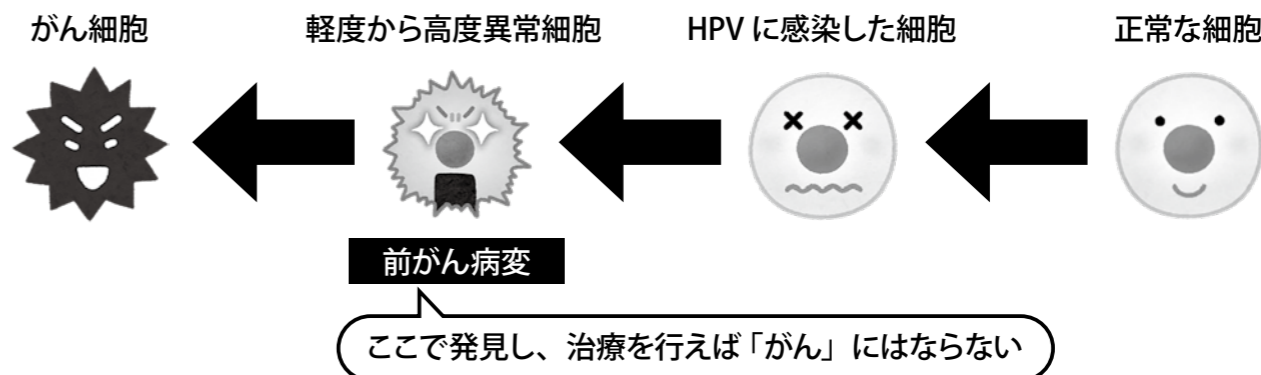
問合せ先/健康づくり課 (978-7100)



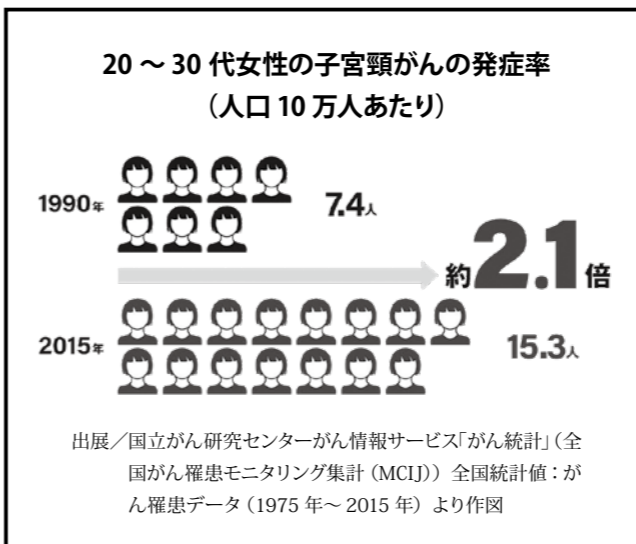
子宮頸がんになるまでには
実は長い道のりがある？

細胞が子宮頸がんになるまでの経過
子宮頸がんには、前がん病変という
ものがあり、異形成と呼ばれるがん
になる前の状態を何年か経てからがん
になります。この時期は、症状がなく
りものや出血、痛みもありません。ま
た、初期の子宮頸がんにも、自覚症
状がありません。気づいた時にはすで
に進行していたというケースも少なく
ありません。町でも毎年、子宮頸がん
診を受けた人から数人子宮頸がん（前
がん病変を含む）が見つかっています。

子宮頸がんになるまでのイメージ



子宮頸がんは子宮の入口部分(頸部)にできるがんです。発症年齢は20歳代後半から40代と、ほかのがんに比べて若年層に多く、発症年齢のピークと出産年齢ピークが重なり、妊娠時の初回検査で子宮頸部の異常が発覚する人も少なくありません。実は、この20年ほどで子宮頸がんの発症率は右肩あがり、女性特有のがんの発症率の中では、近年で圧倒的に多くなっています。国内では、年間で約1万人もの女性が新たに子宮頸がんと診断され、年間で約2900人が子宮頸がんによって亡くなっています。



子宮頸がんは気づきにくいがんですが、がん検診を受けて初期の状態で見つかれば、子どもを産むことを考えて、子宮を残して手術をすることも可能です。発見が遅れてしまくと、子宮をすべて取る手術や放射線治療、抗がん剤治療の必要があるため、妊娠・出産はできなくなります。また、手術後はおしっこがうまく出せなくなったり、足がむくみやすいなどの後遺症と付き合っていく必要があります。



子宮頸がんの原因は
ありふれたウイルスだった？

子宮頸がんの原因は、ヒトパピローマウイルス(HPV)です。このHPVは、ありふれたウイルスで生涯に80%以上の人がこのHPVに感染するといわれています。

通常は感染しても自然に排除されますが、長い間感染が続いた場合、細胞が少しずつがん細胞へと変化していくことがあります。HPVには多くの型がありますが、子宮頸がんの原因となる代表は16型と18型で、20代～30代で発見される子宮頸がんの80%～90%は、16型、18型が原因となっています。これらのウイルスなどが原因で、日本人女性の73人に1人が生涯で子宮頸がんにかかっています。



ウイルス感染の予防方法

誰でも感染する可能性があるHPVですが、感染してしまう前に予防する方法があります。それがヒトパピローマウイルスワクチンです。HPVワクチンは、この16型と18型はもちろんのこと、ワクチンの種類によっては他の病気も引き起こすウイルスも予防することができます。HPVワクチンは定期予防接種の一種で、町では次の対象者に5月に予防票を送付しています。

キャッチアップ接種について

キャッチアップ接種とは、HPVワクチンの平成25年6月からの厚生労働省による積極的勧奨の差し控えにより接種機会を逃した人を対象とし、令和7年3月31日まで、公費負担でどちらかのワクチンを接種するものです。

○接種対象者
平成9年4月2日～平成18年4月1日生まれの女子
○申込み
健康づくり課窓口まで母子手帳を持参して申請をお願いします。



ワクチンとがん検診が大切

HPVワクチンを接種したとしてもHPVの感染の持続がおこる場合があります。それに対処するためには子宮頸がん検診が必要です。毎年町では、6月～12月の間、個別医療機関で子宮頸がん検診を実施しています。また、11月29日(火)、11月30日(水)に保健センターでの集団検診もあります。子宮頸がん検診は20歳になったら、2年に1回は受けましょう！
各検診は予約が必要です。詳細は健康のしおりをご覧ください。

生涯のHPV感染率
80%以上

感染する前の、予防が大切

日本人女性のうち
子宮頸がんにかかる数
約1/73人

HPV ワクチン令和4年度接種対象

学年	接種期限
高校1年生相当	令和5年3月31日
中学3年生	令和6年3月31日
中学2年生	令和7年3月31日
中学1年生	令和8年3月31日

※標準接種年齢は中学1年生

○ワクチンの種類

・サーバリックス(2価) 3回接種
・ガーダシル(4価) 3回接種
※種類の特徴については、健康づくり課にお問い合わせください。

子宮頸がん検診

婦人科集団検診
予約申込はこちら

子宮頸がん検診

子宮頸がん予防

この2つが
とても大切

HPVワクチン